めざす姿
いい声
いい顔
いい心

戸崎っ子だより No.13

さらに育てる:伝え合う力・つながる力・挑戦する力・考動する力！

R８．10月文責　古奥

教育目標:　夢と目標を持ち努力と挑戦を重ね　自信を身に付ける児童の育成

自分に負けない強い心の戸崎っ子に

５日間の秋休みが終わり、後期が始まりました。前期には、たくさんの「できるようになったこと」「成長したこと」「わかるようになったこと」等、担任の先生方がしっかり見てくださっていました。目標を立て、挑戦し努力した戸崎っ子のみんなは素晴らしいです。

さて、前期に「いい声・いい顔・いい心」について振り返りをしました。その中で、『いい声』の「伝わる声」、『いい顔』の「よく聞いて、応える」、「自分から進んで取り組む」が十分ではないことが点数に出てきました。後期は、「大変よくできた、よくできた」と振り返ることができるよう、考えを話すことやはっきり話すことを意識すること、自ら考えて動く、考動すること。カタカナ、九九、漢字、計算、暗算、読むこと書くこと等を繰り返し繰り返しわかるまで、自分の弱い気持ちに負けないで練習することを頑張ってほしいと思います。

一人ではなくみんなで、励まし合い、声かけあって努力し、できることを増やして、やり遂げたことを自信に変えていきましょう。

福祉について学ぶ　３・４年生！

市社会福祉協議会から２名、サポーターの方２名来校いただき、９月１１日に、子どもたちは体験を通して福祉について学びました。福祉とは？福祉って何だろう？の問いに、「ふだんの　くらしの　しあわせ」であることであり、福祉の仕事の「地域福祉・高齢者福祉・障がい者福祉・児童福祉」について話を聞きました。そして、車いすにそれぞれが乗る体験、押す体験、体験セットを装着した高齢者疑似体験をしました。体験を終え、子どもたちの感想は、「車いすを押すとき、声をかけることで乗る側も安心できたし、自分もなんだか心があったかくなれたので良かったです。」「大変さにびっくりした。自分ができることを考えて手助けしたい」と言っていました。困っている人が安心して暮らせるようにすること（みんなが安心できる）今は元気な人もいつかは困ることがあるかもしれない。だからお互いに助け合う気持ちが大切。国や地域、私たち一人一人がみんなで力を合わせて困っている人を助けること（支え合う社会）。これらの気持ちが表れる素敵な行動に気付き、広げ、大切にしていきます。





５年生！　ＳＤＧｓ講座

５年生は、５日（月）に、SDGs講座を受講しました。１７の開発目標の中から、「２：飢餓をゼロ」に「６：安全な水とトイレを世界中に」、「12：つくる責任・つかう責任」について市の連携協定締結企業のあいおいニッセイ同和損害保険株式会社のSDGｓコミュニケーターの方から話を聞きました。森林の伐採、異常気象等で食物が作れなく、世界中の人口増加で飢えに苦しむ人が増える事実を知り、どうすればよいかを考えました。また、世界には安全な水を手に入れられない人が約６億６３００万人いることを知り、水の使用量を考える機会になりました。日本の食品ロスも一人１年で約４１Kgだそうです。

食べ物を大切にすることを見直しました。５年生は今後も環境について見つめ、学びます。



６年生！　鞠智城見学・写生

１０月１日に６年生は鞠智城へ施設見学をし、施設のすばらしさに触れた後で、絵画展に向けた風景の写生を行いました。社会の教科書で学習した歴史に関する施設が、身近にあることを再確認し、先人の知恵と工夫を学んでいました。現地で説明を聞き、知らなかったことの発見があったようで、今後開催されるイベントに参加したいという意欲が高まったようです。市教育委員会が「菊池サステナ学びの旅」事業を推進し、鞠智城コースをはじめ、菊池渓谷、竜門ダム、隈府街歩き、菊池飛行場等のコースが設けられています。今後も積極的に参加します

